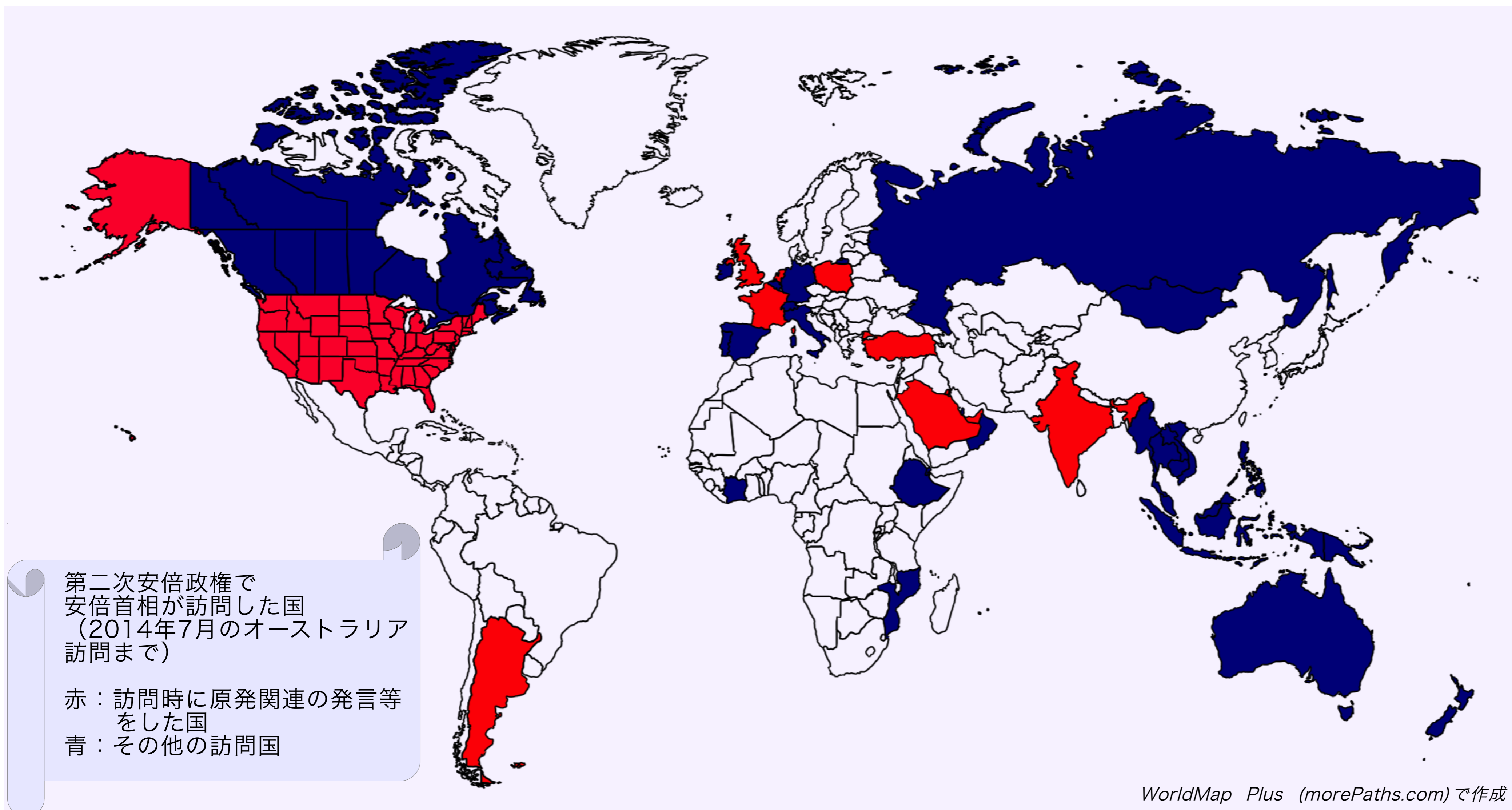


安倍原発外交



アメリカ

首脳会談

2013年2月

2030年代に**原発稼働ゼロ**を可能とする、との前政権の方針は、**ゼロベースで見直す**

ニューヨーク証券取引所スピーチ

2013年9月

「日本は、**原発の安全技術**で、これからも世界に貢献していきます。**放棄することはありません**。福島事故を乗り越えて、世界最高水準の安全性で、世界に貢献していく責務があると考えます。」

サウジアラビア

日本とサウジアラビアとの間の包括的パートナーシップの強化に関する共同声明—エネルギーからシナジーへ— (和文仮訳)

2013年3月

原子力における二国間**協力を促進**することの重要性を認識

アラブ首長国連邦

原子力の平和的利用における協力のための
日本国政府とアラブ首長国連邦政府との間の協定

2013年3月

署名

日本とアラブ首長国連邦との間の安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップの強化に関する共同声明 (和文仮訳)

本協定が日本とUAEとの間の**原子力協力を更に拡大**させるものであることを満足の意とともに留意した

トルコ

平和的目的のための原子力の利用における協力のための
日本国政府とトルコ共和国政府との間の協定

2013年3月

署名

日本国とトルコ共和国の戦略的パートナーシップの構築に関する共同宣言

これらの交渉により、**原子力の平和利用の分野での新たな協力**が構築されることへの希望を確認した。

2013年10月

日本国とトルコ共和国の原子力エネルギー及び
科学技術分野における協力に関する共同宣言

署名

首脳会談

シノップ原発プロジェクトについて、日本企業側とトルコ政府との間で**商業契約の交渉が終了し合意に至った**ことを歓迎

ポーランド

2013年6月

「V4(ポーランド、チェコ、ハンガリー、スロバキア)+日本」 共同声明 21世紀に向けた共通の価値に基づくパートナーシップ

日本国は、東京電力福島第一原子力発電所事故から得られた知見と教訓を共有することにより、**世界規模で原子力安全を強化することに貢献**するとの自らの責務を再確認した。

英国

2013年6月

経済政策に関する講演

「原子力発電の安全性を高め、不拡散レジームに、貢献し続けること。世界の先頭を走ってきた**日本は、ここから撤退する道を選びません。**」

2014年4月

シティ主催歓迎晩餐会スピーチ

「世界のどこにも劣らないレベルの厳しい安全基準を満たしたところから、目下ひとつとして動いていない**原子力発電所を、ひとつ、ひとつ、慎重な手順を踏んで稼働させていく**ことにしました。」

日英共同声明(仮訳) ~21世紀のためのダイナミックな戦略的パートナーシップ~

英国は、グローバルな、平和的かつ安全な原子力の利用と再生可能エネルギーの導入の加速を含む、日本の新しい**エネルギー基本計画を歓迎**する。日英両国は、企業間の協力の促進や**民生用原子力の協力の深化**によるものを含め、クリーンエネルギーの開発促進において共に取り組んでいる。

気候変動とエネルギー協力に関する日英共同声明

日英両国は、**日本の企業**、特に日立と東芝による**英国の新規原発建設プログラム**への多額の投資と、こうしたプログラムを成功させるために不可欠となる商業的な連携を進展させるという**両企業の関与を歓迎**する。

クウェート

2013年8月

日本とクウェート国との間の安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップの強化に関する共同声明(和文仮訳)

原子力安全及び災害管理の分野、特に、東京電力福島第一原子力発電所事故の経験と教訓を共有することにより、食品及び水の安全並びに正確な情報提供を確保する手段について協力を促進する意思を表明した。

アルゼンチン

2013年9月

IOC総会プレゼンテーション

Some may have concerns about Fukushima. Let me assure you,**the situation is under control.** It has never done and will never do any damage to Tokyo.

インド

2014年1月

共同声明 日インド戦略的グローバル・パートナーシップの強化(仮訳)

原子力安全が両国政府にとって重要事項であるということを確認しつつ、両国間の民生用**原子力協力の重要性を再確認**した。

オランダ

2014年3月

核セキュリティ・サミット 全体会合ステートメント

「日本の原子力利用は厳に平和目的に限られ、保障措置に関し長年一点の曇りなく対応しています。福島第一原子力発電所事故を経験した日本は、**原子力安全とともに核テロ対策にも役立つ教訓を、各国と共有**しています。」

フランス

2014年4月

日仏共同プレスリリース

両国は、**民生用原子力分野における協力を強化**する。両国は、この文脈において、第4世代原子炉ASTRID計画及び高速炉協力をに係る日本国当局とフランス共和国原子力庁の間の取決めの署名を歓迎する。

私の感想

安倍首相は国会答弁では「原発依存度は可能な限り低減するというのが基本方針」と何度も言っていますが、実際の行動はそうはなっていません。。

国内では再稼働を進める一方、今回引用した海外での発言や共同声明は国内での発言より露骨で、まさに原発推進です。

これまで何度もここで言ってきましたが、日本は今も『原子力緊急事態』中なんです。それなのに。。原子力災害対策本部長であるはずの現首相の行動は全く理解できません。

<参考資料>

①外務省HP 総理大臣の外国訪問一覧

http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/page24_000037.html